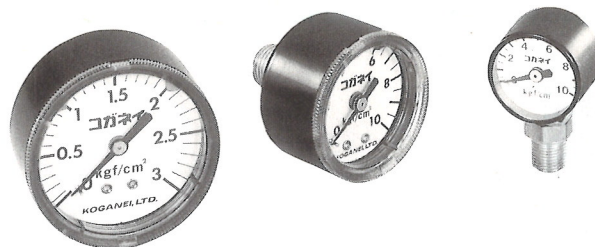


圧力計

G1-25・G1-40・G1-50・G3-40・G3-50



表示記号



注文記号例

G 1 - 40

配管方向^注
A—下配管
D—裏配管

外径
25—外径25mm(10kgf/cm²用のみ)
40—外径40mm
50—外径50mm

圧力表示範囲
1—標準仕様 10kgf/cm²
3—低圧仕様 3kgf/cm²

圧力計

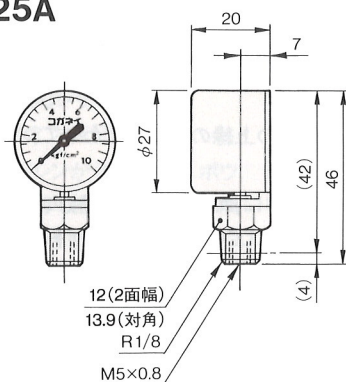
注：G1-25のみ。G1-25以外は裏配管となります。

仕様

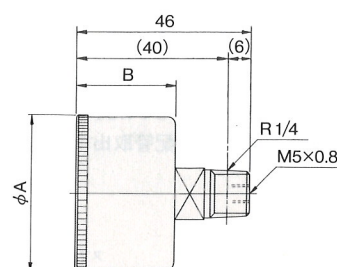
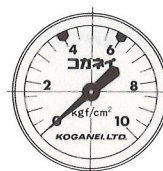
項目	形式	G1-25	G1-40	G1-50	G3-40	G3-50
使用流体		空 気				
配管接続口径	R	1/8(M5×0.8)	1/4(M5×0.8)			
圧力表示範囲	kgf/cm ² {kPa}	0～10			0～3	
外径	mm	25	40	50	40	50
最高使用圧力	kgf/cm ² {kPa}	9.5			2.5	
使用温度範囲(雰囲気または使用流体) °C		5～60				
重量	kgf	0.04	0.09	0.10	0.09	0.10
材質(本体)		黄銅				

圧力計寸法図

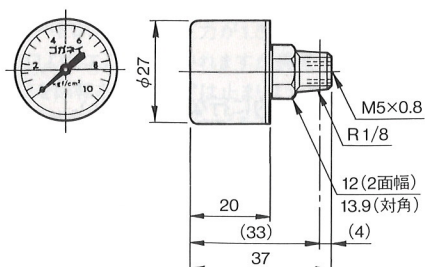
G1-25A



G1-40
G1-50
G3-40
G3-50



G1-25D



記号	A	B
G1-40	42.5	26.5
G1-50	52.5	27.5
G3-40	42.5	26.5
G3-50	52.5	27.5



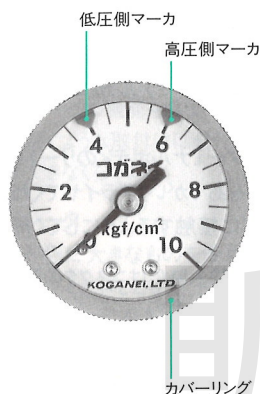
圧力計

取付・配管

1. 取付姿勢は自由ですが、バルブとアクチュエータの間に取り付ける場合など、圧力の脈動が激しい場合には絞り機構などを設けてください。また強い振動がある場所に取り付ける場合はご相談ください。
2. 取付けおよび配管時には、圧力計の本体部をつかんで締め付けないでください。締め付けは必ず配管接続口の六角部または四角部にスパナを掛けて行ってください。

プリセットマーカ

圧力計G1-40・50, G3-40・50は、プリセットマーカを設定することができます。カバーリングを回転して、はじめに低圧側を、つぎに高圧側をセットしてください。



一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング(圧縮空気の吹き流し)を十分に行なってください。配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、空気漏れなどの作動不良の原因となります。
2. 使用流体は空気を使用し、それ以外の流体の場合は、ご相談ください。
3. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。
有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・酸類。
4. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護してください。

販売終了